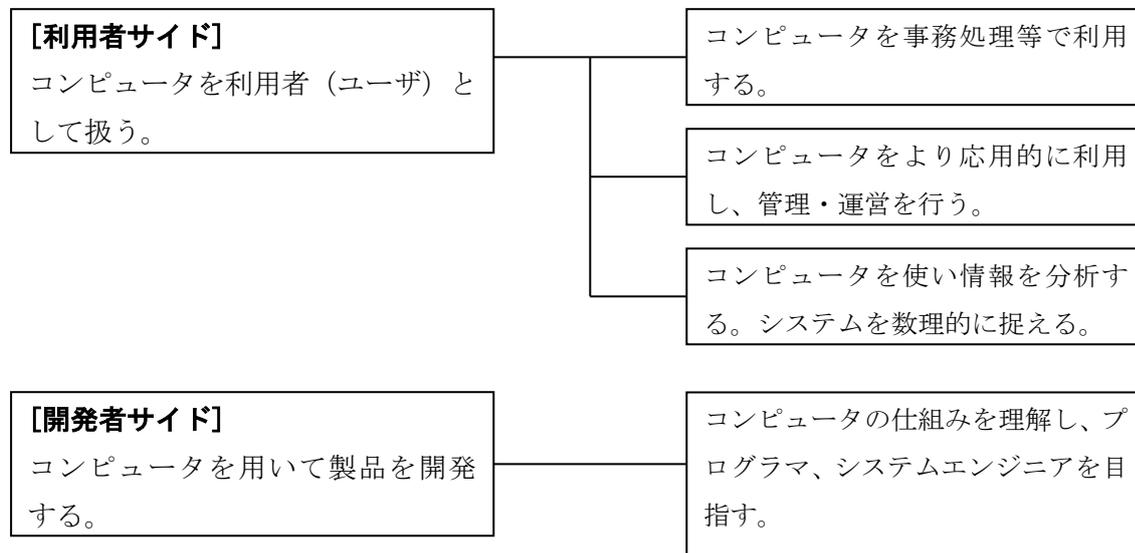


## 専門科目 情報科学分野の紹介

この分野では、ビジネスアプリケーションソフトから、システム開発、インターネットまで多岐にわたる内容を系統的に学べるよう科目を構成し、演習を多く取り入れて授業を進めています。情報科学分野の科目は経営情報学関連の科目とコンピュータ科学関連の科目があります。各科目は、特に情報科学の基礎部分に重点を置いて学習するとともに、情報技術を経営・会計分野で活用できることを考慮した実践的な内容も盛り込まれています。

情報科学分野の科目の履修方針として、卒業後の進路を踏まえ、大きく2つの考え方があります。将来的にコンピュータを事務処理の道具、または情報やデータ分析等の道具とし、運用および管理を行う利用者（ユーザ）として用いる事を主目的とした「利用者サイド」と、もうひとつは、コンピュータの仕組みをより専門的に学び、プログラムやシステムを作成する開発者となる事を目的とした「開発者サイド」というふたつの考え方があります。

実際の科目の選択方法として、経営系の科目を中心に履修したい学生や、情報系の科目を中心に履修する中でコンピュータの様々な用途、運用方法について学びたい、または経営情報系大学への編入を考えている学生は、コンピュータを利用者として使う「利用者サイド」の科目を中心に履修していくことがよいと思います（次ページの表を参照）。一方、コンピュータのハードウェアやソフトウェアの仕組みを理解したい、または情報系企業への就職、情報系大学への編入を考えている学生は「開発者サイド」の科目を中心に履修していくことがよいと思います。



関連する資格としては、ICT プロフィシエンシー検定協会の「P検」や情報処理技術者試験の「ITパスポート試験」等が挙げられます。

また、情報科学分野の開講科目は20科目42単位となっています。

下の表は、情報科学分野を履修するにあたって、将来の目的に沿った履修の目安です。自分の将来をイメージして情報系の科目を履修してください。なお、この表はあくまで目安なので、必ず表のとおり履修する必要はありません。現在の社会ではいろいろな分野でコンピュータが利用されているので、より幅広い科目を履修することを望みます。

表 情報科学分野の目的別履修の参考資料

	科目名	単位数	利用者側			開発者側
			事務処理	コンピュータ利用 応用と管理	分析と数理	
専門基礎科目	経営情報システム論	2◎		○		○
	コンピュータ概論（ソフトウェア）	2◎	○	○		○
	コンピュータ概論（ハードウェア）	2◎	○	○		○
経営情報学関連	経営科学	4		○	○	○
	経営統計学	2		○	○	○
	情報代数学	2			○	
	OA論	2		○		○
	システム設計論	2				○
	ビジネスゲーム演習	2		○		○
コンピュータ科学関連	アプリケーション演習	2	○	○		
	情報メディア演習	2	○	○		○
	データ分析演習	2	○	○	○	
	プログラミング論	2				○
	プログラミング演習Ⅰ	2				○
	プログラミング演習Ⅱ	2				○
	プログラミング演習Ⅲ	2				○
	OS論	2				○
	データベース演習	2		○		○
	システム演習Ⅰ	2				○
システム演習Ⅱ	2				○	

◎の科目は専門基礎科目で、経営情報システム論、コンピュータ概論（ソフトウェア）、コンピュータ概論（ハードウェア）の3科目の中で、最低2科目4単位以上の単位取得をしなければなりません。